



まちだの新たな学校づくり通信

Machida New Concept School 2040

2024年12月18日号

南第一小学校地区

1頁 地域活用型学校について
特別授業を実施しました

2頁 仮校舎・新校舎の
整備について

ともに学び、ともに育つ学び舎づくりを目指して

【発行】町田市教育委員会

新たな学校づくり推進計画では

地域活用型学校（市民生活の拠点づくり）を目指しています

【問合せ先】

地域活用型学校について 学校教育部新たな学校づくり推進課 042-785-5471

都市計画手続きについて 都市づくり部都市政策課 042-724-4248

これからの学校は、学校教育の場や身近な避難施設としてはもちろん、地域の活動拠点となることを目指しています。こうした「学校を地域の活動拠点とする」ということを、よりわかりやすく伝えるために、改めて「地域活用型学校」と称し、取り組みを進めています。

地域活用型学校のイメージ

スポーツ・生涯学習・地域活動等を通じて、多様な人々が学校に集まれるようにしよう。



地域の防災拠点であることから、避難施設として使いやすくしよう。



子どもが放課後に地域の方と学習や創作活動などを出来るようにしよう。



地域活用型学校の整備のため都市計画手続きを進めています

5 地区（本町田、南成瀬、鶴川東、鶴川西、南第一小学校地区）では、地域活用型学校の整備のために、都市計画手続きを進めています。

2025年7月には都市計画手続きの一つとして、都市計画案の内容を広くお知らせする予定です。



統合や建替えの背景や目的を知ってもらうため

まちだの新たな学校づくりについて授業を実施しました！

11月13日（水）に、南第一小学校の3年生を対象に「まちだの新たな学校づくり」についての特別授業を実施しました。

<授業の内容>

町田市の学校の歴史や児童数の推移など計画の背景を学び、どんな学校になったらいいか、グループごとに話し合い、発表してもらいました。



<みんなで考えたこんな学校がいいな>

- エレベーターがあるといい
- プールの上に天井がある
- 大きなロッカー
- 食堂がほしい
- 芝生や遊具がほしい など



昨今の社会情勢を踏まえた

仮校舎・新校舎の整備について

南第一小学校地区については、2022年度に「南第一小学校 新たな学校づくり基本計画」を策定し、計画に基づいて新たな学校づくりを進めています。現在、南中学校に整備する仮校舎の工事に向けた契約手続きを進めています。

現在進めている仮校舎・新校舎の整備について、昨今の物価高騰等の社会情勢の変化を踏まえて、以下の2点を変更することとしました。

(1) 南中学校に整備する仮校舎の設置期間等について

昨今の社会情勢の変化を受けて、町田市では現在、推進計画で示した時期のとおり統合・建替えに取り組むことができるか検討しています。当初の計画では南中学校に整備する仮校舎については2027年度から2036年度の10年度間設置し、3校（南第一小学校、南第四小学校、南中学校）使用する予定でしたが、建替えの時期を柔軟に検討できるようにするため設置期間を2027年度から2033年度に変更し、2校（南第一小学校、南第四小学校）の建替え期間中のみ使用することとしました。なお、南中学校の建替え時期は現在検討を進めておりますが、建替え時には改めてその時のクラス数に応じた適切な規模の仮校舎を整備します。

【仮校舎配置図】



(2) 南第一小学校の新校舎の整備手法について

基本計画では、南第一小学校の新校舎は、設計・建設・維持管理などを一括して長期の契約とするPFI手法での建設を予定していました。しかし、現在の社会情勢では、民間事業者の参画へのハードルがより高くなる傾向にあることなどから、南第一小学校の新校舎は、これまで多くの学校建設にも用いられてきた従来手法により整備することとしました。

なお、契約の準備に今年度から取り掛かることで、当初の計画通り、2027年4月から仮校舎へ通学、2030年4月に新校舎を使用開始することについては変更ありません。